

いたばしアクティブプラン 2025 素案からの主な変更点について

頁数	主な意見	主な変更内容
10	これまでにあった女性の問題が、コロナ禍でより顕著になった現状について追記すべき。	1（1）世界の動き の項目に、国連が新型コロナウイルスの女性への影響について報告書を発出したことを記載しました。
15	（3）行動1－3 課題1点目 女性が結婚や出産時に離職するのは、キャリア形成に関する意識において問題があるからだと読めるような文章は修正すべきである。	就労継続を可能にする具体的な選択肢や方法の提示など生涯キャリア形成に関する情報発信が必要であるという旨の文章に修正しました。
17	（3）行動2－2 課題2点目 女性が参画する場合にのみメリットの説明が必要になる状況こそが問題である。	運営に関わる男女の比率が偏ることによって生じる問題への理解促進という旨の文章に修正しました。
32 34	計画全体を貫く視点 多様性のバランスとは何なのか、説明が不明瞭である。	板橋区がめざす男女平等参画社会の姿を3つの「めざす姿」として設定し、その均衡した姿を「いたばしグッドバランス」と定義しています。
32 34 37	SDGs との関係についても記載し、SDGs のゴール達成に向けて取り組んでいく旨を記載しているのだから、「社会的につくられた性差」という表現ではなく、既に一般に広まっている「ジェンダー」という表現に修正すべきである。	「ジェンダー」という言葉を併記しました。
33	1 SDGs との関係について ジェンダー平等に関して、女性たちは既に様々な場で活躍をしているが、その能力や貢献が男性と比べて評価されにくいことが問題である。	未だ女性の能力や貢献が評価されにくい実情を踏まえて、あらゆる分野での男女平等参画に向けた施策を強化するという旨の文章に修正しました。
38 39	体系がわかりにくい。行動が何ページなのか記載してほしい。	表中の各行動の欄に、記載ページの番号を追加しました。
40 41 42	成果指標について、目標値はできるかぎり具体的なものにすべきである。	計画の成果指標に、具体的な目標値を設定しました。

頁数	主な意見	主な変更内容
47	働くことだけが、活躍することではないと考える。	1 段落目の文章に働くことのみが活躍する手段ではないという旨の文章を追記しました。
48 以降	—	すべての重点事業について、年度別計画を記載しました。
49	行動1の施策について、企業等に働きかけて変化を促していくという観点からすると、事業を強化すべきと考える。	計画事業に、新事業No.5「優良企業認定制度の活用支援及びいたばし good balance 会社賞受賞企業の継続取組支援」を追加しました。
51	事業No.13について キャリアカウンセリングという事業名称は、ハードルが高く感じられ、利用をためらってしまう人もいるのではないか。	気軽にご利用いただけるよう、事業内容を詳しく記載しました。
71	事業No.54について 「イクメン講座」という名称は、女性が育児をすることが前提となっているように感じられるため、別の表現を検討してほしい。	事業名称を「パパと一緒にあそぼ！【イクメン講座】」に変更しました。
85	—	性的マイノリティに関するコラム「コラム みんな、好きなことや得意なことは色々、 ^ソ SOGIも色々」を追加しました。
97	DVと児童虐待の関係が注視されている。 子が見ている前でのDV（面前DV）に関する取組は何かないか。	計画事業に、新事業No.102「面前DV等相談受付体制の強化」を追加しました。
106	渋沢栄一翁は社会的関心が高く、女性の教育や女性活躍の推進という観点からも、コラムとして取り上げるべき人物であると考え。	コラム『板橋ゆかりの人物。女性社会進出に貢献した「渋沢栄一翁」』を追加しました。
107 以降	—	資料編を追加しました。